対日理解促進交流プログラム「JENESYS2026」（対象国：太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド）

フィジー共和国への大学生・大学院生派遣 募集要項

2027 年 2 月に実施予定のフィジー共和国への大学生派遣の件に関し、以下の要領で参加者を募集します。

Ⅰ 概要

1. 事業目的

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材の招へい・派遣を通じた対日理解の促進と、外交基盤・対外発信の強化を図るものです。

このうち Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youth 「JENESYS」はアジア大洋州地域を対象としたものであり、本募集は、当該事業の一環として実施するものです。

2. 事業概要

2026 年度に実施する「JENESYS2026」（対象国：太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド）では、日本の大学生 10 名をフィジー共和国に派遣し、主に以下のプログラムを実施する予定です。

① フィジー共和国における、日本の ODA 事業サイトや民間企業活動地訪問、視察及び関係者との意見交換
② ホームビジットを通じた、同国の伝統的な家庭・文化の体験
③ 日本とフィジー共和国の関係を再認識し、現地での体験や学び、課題解決に向けた日本での取り組みなどを、SNS や学校の報告会にて発信、紹介
④ アクションプラン（帰国後の活動）の作成、実践と、その成果を情報発信
※アクションプランには、フィジー共和国と日本の共通する課題解決への取り組み（例：個人で実施できるゴミ削減や温暖化対策など）、情報発信方法などを盛り込みます。

（1） 実施団体：国際協力サポーターズ・日本旅行共同企業体
※派遣に関する選考、手続き、フィジー共和国派遣への同行等、JENESYS2026 派遣事業に関する業務を実施します。

(2)　実施時期および期間：

【プレプログラム（事前学習、準備のためのオンラインプログラム）】

第 1 回目：2026 年 12 月 22 日（火）または 23 日（水）

第 2 回目：2027 年 1 月 18 日（月）～24 日（日）のいずれか 1 日

（ともに 2-3 時間程度/回）

【派遣】（予定）

2027 年 2 月 6 日（土）出国～2027 年 2 月 13 日（土）帰国

※現在フライト調整中につき、場合によっては 3～4 日前後した日程になる可能性があります

(3)　テーマ：『多様な国際協力のカタチ』

太平洋島嶼国の持続可能な発展に向けた取組を題材に、日本が実施する ODA（政府開発援助）について理解を深めます。また、有償資金協力、無償資金協、技術協力、ボランティア事業に加え、国際機関、多国間連携、民間企業など、様々な主体による国際協力の手法や役割について学びます。

さらに、それぞれの主体がどのような強みを活かして課題解決に取り組んでいるのかを、現地で活躍する関係者との対話や視察を通じて理解し、多様な国際協力の在り方について考察します。

(4)　プログラム日程（予定）：

日程	プログラム内容
現地 1 日目	【交流・視察・意見交換】 フィジーで社会課題の解決や人材育成に取り組む民間企業の訪問やホームビジット
現地 2 日目	【移動・表敬訪問】 在フィジー大使館表敬訪問
現地 3 日目	【視察・意見交換】 JICA 事務所表敬訪問、ODA 事業の取組視察
現地 4 日目	【視察・意見交換・交流】 JICA 海外協力隊活動視察 南太平洋大学訪問・交流
現地 5 日目	【視察・意見交換】 太平洋諸島フォーラム（PIF）本部訪問、ODA 事業の取組視察
現地 6 日目	【報告会】 アクションプラン発表 【移動】フィジー→日本（翌朝日本着）

※詳細につきましては、別添を参照ください。

※現地状況等により、プログラム内容については、変更が生じる可能性があります。

3. 経費

プログラム参加に必要な費用については、以下の通りです。

◇主催側負担経費

- 海外渡航費：国際線出発空港（成田を予定）から派遣国までの往復渡航費
- プログラム中の宿泊費及び食事代（国際線乗り換え時の朝食・昼食・夕食を除く）
- 現地での体験料及び入館料
- 現地移動等に係る費用
- 海外旅行傷害保険加入費

保険内容（予定）

傷害死亡保険	2,500 万円	傷害後遺障害保険	2,500 万円
傷害治療費用保険	1,000 万円	疾病治療費用保険	1,000 万円
救援者費用保険	300 万円		

◇参加者自己負担経費

- 追加保険の加入費用（任意）及び予防接種料
- プログラム開始前と終了後の交通費・食事代（出発空港までの日本国内）
- パスポート取得費用（持っていない方のみ）
- 現地受入れ先、交流先等への記念品やお土産代（一人あたり 3,000 円程度）
- 参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用（国際線、ホテル費用他）
- その他、私的な支出

Ⅱ　募集について

1.応募資格

1.　募集対象

・日本在住の日本国籍を有する大学生（短期大学、4 年制及び 6 年制大学）、大学院生。

・Ⅰ-2.事業概要（3）に記載されている本派遣プログラムのテーマでもある『多様な国際協力のカタチ』に関心のある方

2.　アクションプランの実践、情報発信、報告

- 派遣プログラムを通じて学んだことを基にしたアクションプランを実践できること。
- 派遣プログラムの訪問先で学んだことやアクションプランの実践の様子などを、派遣中・帰国後に WEB 公開（オープン型）の SNS にて発信し、報告書として提出できること。可能であれば、大学や所属サークル・団体での発表が伴うと望ましい。

3. 心身の状況
   - 心身共に健康で協調性に富み、事業計画に従って規律ある団体行動ができること。
     ※本プログラムは集団行動となります。また、多忙なスケジュールであることから、すべてのプログラムを遂行する体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は、原則参加は認められません。

4. 事前の準備
   - フィジー共和国についての事前学習（地理、歴史、経済、民族、文化等）を積極的にできること。
   - 日本やフィジーにおける国際協力の取り組みについての事前学習ができること。
   - 現地学生との交流での日本文化紹介実演の準備が可能なこと(英語での発表を想定)。

5. 事業全日程への参加
   - プレプログラム、ならびに日本出国～帰国（5 泊 8 日（予定））までの全プログラムに参加できること。
   - 帰国後、複数回のアンケート調査に回答できること。

6. 日本政府の派遣プログラム参加経験
   過去に、日本政府による公的な派遣プログラムに参加経験がないこと。
   （当該プログラム例：JENESYS、カケハシ・プロジェクト、MIRAI、日露青年交流事業、Juntos!!　青年の船 等）

7. その他
   - 太平洋島嶼国、特にフィジー共和国に興味を有すること。
   - 指定した期日までにパスポートを用意できること（既に所有している場合は、フィジー共和国入国時に残余期間が 6 か月以上あること)。
   - 英語での簡単なコミュニケーションができること（英検 2 級、TOEIC550 以上、と同等レベル以上)。
   - LINE や Facebook に登録し、他の参加者や実施団体である当企業体スタッフとやりとりができること（グループでのチャット含む)。
   - 派遣の様子の写真を、外務省や当企業体の HP、プレスリリースにて公開することに同意できること。
   - 別添『対日理解促進交流プログラム「JENESYS2026」(対象国： 太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド）フィジー共和国への大学生・大学院生派遣 参加同意に当たっての確認事項』をよく読み、「参加同意書（プログラム中の責任範囲への同意、個人情報ならびに肖像権の使用に関する同意含む)」に同意すること
   - 可能な限り（日本版）JENESYS 同窓組織の活動への参加に協力ができること。

2. 募集定員：10 名

3. 応募方法

(1) 提出書類

別添『対日理解促進交流プログラム「JENESYS2026」（対象国：太平洋島嶼国、豪州、ニュージーランド）フィジー共和国への大学生・大学院生派遣 参加同意に当たっての確認事項』を熟読の上、実施団体である国際協力サポーターズのホームページより、提出書類①をダウンロードして記入ください。

① 「参加申込書・参加同意書」

② 語学力を証明する資料（コピー可）

(2) 提出方法

上記書類に記入またはご準備の上、②語学力を証明する資料と合わせて jenesys@icos.or.jp 宛てメールに添付し送付してください。

(3) 提出期限

2026 年 11 月 24 日(火) **<u>※メール必着</u>**

(4) 選考方法

書類選考を基本とし、必要に応じて、オンライン面接が組み込まれる可能性があります。
提出された書類一式は返却しませんので、予めご了承ください。
※AI を利用した書類作成は、無効と判断させていただきます。

4. その他

- 選考結果は、12 月 4 日（金）までにメールにてお知らせします。
- 選考過程及び選考結果の合否理由等に対するお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
- 参加者には、別途 2026 年 12 月 20 日頃を目途に①パスポートコピー（顔写真のあるページ）、②（大学または大学院の）在籍証明書、をメール添付にて提出していただきます。
- 新たにパスポート発券申請をする場合、申請から受領まで 2 週間程度かかりますのでご注意ください（土日休日を除く）。
  パスポートの申請から受領まで（初めてパスポートを申請するとき等の例）｜外務省 (mofa.go.jp)

Ⅲ　参加者の義務・遵守事項

参加者の皆様には、以下の事項についてあらかじめご理解・ご承知の上、プログラムにご参加いただきます。

1. 原則、参加決定後の自己都合によるキャンセルは認められません。やむを得ない理由でキャンセルとなる場合は、出発日から起算して 30 日前より発生した経費（航空券・ホテル等のキャンセル料）はご本人にご負担いただきます。
2. 参加者の自己都合による途中合流、滞在期間の延長、途中帰国は原則として認められません。これにより発生する費用（航空券の変更、宿泊費等）や、第三者（航空会社、宿泊施設、レストラン等）の行動または過失、参加者自身の損害や所持品の紛失等について、当企業体は一切の責任を負いかねます。
3. 応募内容に虚偽があった場合、または参加決定後に応募資格を満たさない事実が判明した場合、提出物の期限を遵守いただけない場合、プログラム中の不適切な行動や重要な規定違反があった場合には、参加の取り消し、途中帰国の指示、または諸費用や違約金を請求させていただくことがあります。
4. 現地事情や不可抗力（天候、治安、交通事情等）により、旅程や宿泊先の変更が生じる場合があります。
5. 派遣開始前に連絡が取れない期間がある場合は、必ず事前にプログラム担当者へ緊急連絡先等をご連絡ください。
6. 本プログラムは、在外公館等と連携の上治安状況を確認し実施しますが、万が一事故等が発生した場合には、所属機関（大学、大学院等）にも連絡する場合があります。あらかじめ所属機関へプログラムの参加をご報告ください。
7. プログラム期間中に発生した事故、病気、怪我等に関しては、当企業体が適切な対応を行いますが、その結果生じた損害について当企業体は法的責任を負いかねます。必要な医療行為（応急処置を含む）についても同様です。
8. 参加に伴い授業を欠席する場合の取扱いや単位認定等については、各自で所属機関（大学、大学院等）と事前にご相談の上ご判断ください。

Ⅳ　問い合わせ先

国際協力サポーターズ・日本旅行共同企業体
（代表）
一般社団法人 国際協力サポーターズ
JENESYS2026 大洋州派遣事業担当 大原・青山
Email：jenesys@icos.or.jp

以上

【派遣プログラム日程案】

※旅程は現在調整中のため、視察先の変更や一部内容の変更が発生する場合がありますので、予めご了承ください。

テーマ　「多様な国際協力のカタチ」

訪問地
フィジー











日数	時間	プログラム概要	宿泊	プログラム バランス
1			-	全行程で情報発信
	午後	（集合）成田出発		
2	午前	移動 ナンディ空港→ラウトカ	ナンディ	文化体験
	午後	ホームビジット/ソーシャルイノベーション フィジー訪問・活動視察		視　察　意見交換
3	午前	移動　ナンディ→スバ（バス）	スバ	
	午後	在フィジー大使館　表敬訪問		聴　講　意見交換
4	午前	JICAフィジー事務所　表敬訪問	スバ	聴　講　意見交換
	午後	ODA視察①②		視　察
5	午前	JICA海外協力隊活動視察	スバ	視　察　意見交換
	午後	南太平洋大学訪問・交流 同窓会組織（JPAA）交流会		文化体験　意見交換
6	午前	太平洋諸島フォーラム事務局訪問・意見交換	スバ	聴　講　意見交換
	午後	ODA視察③・報告会準備		視　察　意見交換
7	午前	報告会	-	情報発信
	午後	移動　スバ→ナンディ空港→成田		
8	午前	成田着（解散）		
	午後			

帰国後

ＳＮＳ等対外発信　／　大学等での活動報告

アクションプランの実行　／　JENESYS同窓組織への参画

積極的情報発信